

# 平成25年度予算見積調書

課室名：大気環境課  
 担当名：企画・監視担当  
 内線：3057

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B30	揮発性有機化合物対策事業費		一般会計	総務費	環境費	公害対策費	青空再生推進費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	大気汚染防止法		戦略項目	公害のない安全な地域環境の保全		
					分野施策	040301 公害のない安全な地域環境の保全		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>埼玉県は、光化学オキシダント注意報の発令日数が、全国でも非常に多い。そこで、光化学オキシダントの原因物質である揮発性有機化合物（VOC）について、事業者の大気への排出量をより一層削減するため、事業者の排出抑制への自主的な取組を促進させる。</p> <p>(1) VOC対策普及啓発事業 752千円                      (2) VOC削減対策指導事業 1,520千円                      (3) 業種別削減対策推進事業 134千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア VOC対策普及啓発事業 752千円                      事業者向けセミナーの実施（11月）、普及啓発活動（ポスター・リーフレット作成等）（2月）</p> <p>イ VOC削減対策指導事業（通年） 1,520千円                      VOC対策サポート事業の実施、VOC現場測定に係る試薬等の購入                      サポート事業は、アドバイザーの同行による立入検査を積極的に実施することにより、削減対策を強力に推進する。</p> <p>ウ 業種別削減対策推進事業（一部新規、通年） 134千円                      低VOCインクの普及を推進するため、印刷業における普及状況調査を実施する。                      併せて、県庁が率先して印刷物に低VOCインクを使用することで、普及を推進する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成25年度～                      自主的な取組の推進、業種別削減の推進、県庁における削減の取組状況の検証</p> <p>イ 平成29年度                      5か年計画の目標に対する検証等</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>事業者による自主的なVOC削減取組がさらに促進され、VOC排出量の削減が図られる。                      VOC排出量 平成22年度：39,723t/年（現在）→平成28年度：33,000t/年（目標）                      （平成20年度排出量：45,114t/年、平成21年度排出量：41,618t/年）</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況                      九都県市による広域的な取組を平成24年度から展開</p> <p>(5) その他</p> <p>【単位事業名称及び事業内容の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業種別削減対策推進事業</li> </ul> <p>単位事業名称を変更し、業種別にVOC削減に繋がる施策を実施する内容に変更する。                      平成25年度は、印刷業における環境物品等の普及状況を調査し、環境に配慮した取組を県庁全体で率先して実施することで、他自治体及び民間事業者の取組を促進する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
普通交付税（包括算定経費） (区分) 企画費（細目）環境保全対策費（細目）環境保全対策費（積算内容）環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額								
決定額	2,406						2,406	△458
前年額	2,864						2,864	